

1. 管理運営業務の基本方針について**(1). 重点項目****(2). 数値目標****1. 施設の管理運営に対する基本的考え方**

地区センターが「地域住民の自主的な活動」及び「相互交流を深める」場として有効的に活用されること、すなわち「地域における連帯感」「相互扶助の機能」「高齢者や子育て家族に対する支援」「環境保全」「防災・防犯」などの住民生活に直結するさまざまな課題を、住民が主体となって解決する地域コミュニティの場として位置づけ活性化してゆきます。

中区施策である『地域の知恵と力を生かした防犯力・防災力・安全力の向上』『子ども・青少年が健やかに育つ環境づくり』『高齢者・障害者など、誰もが安心して生活できるサービスの充実』『地域資源と市民の力による地域の活性化』『区民・事業者との連携による環境行動の推進』『区民とともに歩み、つながる区役所づくり』、そのような『誰もが安心と活力を実感するまち中区』を区民と協働で創出し、地域住民と行政、清光社の3者連携体制を軸とした管理運営を実施します。

(1). 重点項目**ア. 「地域住民の自主的な活動」をサポートします。**

既存の地域コミュニティを含めた地域住民の自主的な活動が、発展向上するようなサポートを行い、中区及び本牧地区の課題やニーズに取り組む新たな地域コミュニティを創出します。また、中区だけではなく、弊社の指定管理施設や連携施設を有効に利用し、幅広く展開するためのサポートや連携団体との協力により、アウトリーチ活動を積極的に実施します。

イ. 誰もが立ち寄れる「ぷらっとホーム」を目指します。

乳幼児から高齢者の方まで気軽に立ち寄り、「出会い」「生きがい」が生まれ、利用者の方の経験や知識が有用に生きるような相互交流の場の創出を心がけます。

ウ. 区民の方と協働で「誰もが安心と活力を実感するまち中区」を実現します。

行政機関と連携した幅広い職務知識の習得を行うことにより、区政方針・区の施策を反映した事業展開を行い、地域住民と一緒に、防災・防犯等をはじめとする地域の課題を解決します。また、地域住民からの要望や課題を行政機関や周辺施設と連携することにより、新たな中区の課題を提示し、迅速な課題解決を行います。

(2). 数値目標

利用者ニーズの把握と気軽に立ち寄れる雰囲気作りを行うことにより、稼働率の向上及び個人利用増加を促します。具体的には利用料金収入を平成 25 年度実績から 1%以上、またご利用いただく来場者数の向上を目指します。

施設職員による防災訓練と近隣施設と連携した防災訓練を年間で 2 回実施し、大規模災害への備えと災害に強いまちづくりを推進します。

2. 組織体制

- (1). 運営管理に必要な組織、人員体制
- (2). 個人情報保護等の体制と研修計画
- (3). 緊急時の体制と対応計画

2. 組織体制**(1). 運営管理に必要な組織、人員体制**

- ア. 館長 1 名、副館長 2 名の常勤者を配置し、コミュニティスタッフとして、美化スタッフを含めた 14 名により管理します。
- イ. スタッフは半月ごとの交代勤務とし、午前・午後・夜間の区分ごとに 2 名を配置します。交代時には、スタッフが引き継ぎ業務を実施するために、重複して配置いたします。常勤職員については、各時間帯に最低でも 1 名を配置し、館の円滑な運営管理を実施します。

(2). 個人情報保護等の体制と研修計画

「個人情報取扱事業者」として、「個人情報保護マネジメントシステム」の活用により、地区センター運営および自主事業における個人情報の保護を徹底することを基本方針とします。

ア. 法律・条例に則った個人情報保護の徹底

「個人情報取扱事業者」として「個人情報保護に関する法律」および「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守し、個人情報を適正に取扱います。また、守秘義務に関しても職員への周知・徹底を継続します。

イ. 本牧地区センター個人情報取扱マニュアルの作成・活用

「個人情報保護マネジメントシステム」より「本牧地区センター個人情報取扱マニュアル」を作成し、職員への周知徹底と定期的な見直し・改善を行い、個人情報保護を徹底します。

ウ. 個人情報保護管理における責任者の設置と取扱体制の構築

館長を個人情報保護責任者とした上で、取扱担当者を決定し、個人情報の保管期間、保管方法、および消去方法等の措置について、館長から取扱担当者に指示します。また、統括担当者による抜き打ちチェックを実施し、管理の徹底を図ります。

エ. 職員研修及びミーティングを休館日に実施します。

教育プログラムに基づく社内外講習・資格取得・多様な施設間交流講習・効果測定を実施します。(接遇研修・個人情報保護管理研修・指定管理講習会・人権研修・他施設研修等)

(3) 緊急時の体制と対応計画**ア. 事故、災害時の危機管理対策の基本的な考え方**

利用者の安全確保を最優先とし、訓練・研修により職員の危機対応能力を高めるとともに、事前および事後の対策を強化することにより、不測の事態への備えを強化します。さらに、利用者様への被害を回避する観点から、建築物の日常点検や早期修繕の徹底を図ることを基本的な考え方とします。

イ. 利用者安全の最優先

事故・災害時等においては、利用者の避難、誘導、安全確保を第一とし、『横浜市防災計画（震災対策・風水害対策・都市災害対策）』および『災害時等における施設利用の協力に関する協定』『横浜市指定管理者ガイドライン』、『中区防災計画』『指定管理者災害対応の手引き』を全職員が十分に把握し、行動します。

ウ. 職員の危機対応能力向上および事前・事後の対策強化

「本牧地区センター危機管理マニュアル」に則り、研修により周知・徹底を図り、防災訓練・事故対応訓練等を強化することによりマニュアルの見直しや改善の継続を行い、危機管理能力を更に高めます。

エ. 緊急、災害時等の施設破損等を最小限に抑える施設管理

災害時等において、建築物の損傷による利用者への被害を避けるとともに、人命救助などの地域支援活動に支障をきたさないよう、建築物の日常点検、早期修繕及び予防保全の徹底を図ります。

オ. 災害時等における対応策**(ア) 初動対応**

利用者の安否確認と避難・誘導による安全確保を実施するとともに、横浜市及び中区担当窓口への連絡、災害時のレベルに準拠した運営委員および勤務時間外職員の参集を行い、救援活動拠点機能を維持します。

(イ) 二次災害の防止

建物・構築物および樹木の倒壊防止、火災・延焼の防止とともに、危険が周囲に及ぶ可能性のある場合には、周辺住民への危険周知や避難の要請、行政当局や外部技術者等への連絡およびそれらと連携した対応を実施します。

3. 施設の運営計画

- (1). 地域との連携に関する計画について
- (2). 広報及び利用促進策について
- (3). 利用料金の設定について
- (4). 利用者ニーズの把握と運営への反映方法
- (5). ニーズ対応費の使途について
- (6). 個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- (7). その他利用者サービス向上の取り組みについて

3. 施設の運営計画**(1). 地域との連携に関する計画について**

地区センターの設置理念を反映した本牧地区センター管理運営方針に基づき運営業務を実施するとともに、「地域力」推進事業を実施し、地域の持つポテンシャルや住民の方々の力によって、地域問題を解決できる地域コミュニティの創出を目指します。また、地区センターの機能及び利用者の利便性を向上させるイベントやサービスを、障害者通所施設・中図書館などの近隣施設や地域で活動する各種団体と協働で実施することにより、地区センターの利用促進及び地域課題の解決を行います。

その他、「できることから始めよう」を合言葉に、地区センターから社会貢献活動の発信、アウトリーチ活動の実施により、地域交流を深めます。

(2). 広報及び利用促進策について

広報活動は「広報区版」を基本に、「タウンニュース」「区役所での広報」等のほか、地区センターだより及びデジタルインフォメーションを取り入れ、双方向に渡り、情報が行き渡るように展開活動を行います。

利用促進策については、音楽室・料理室・和室などの本来持つ特徴を活かした事業を推進しながら多くの方に部屋の利用方法を知っていただきます。更に、ニーズの把握を行い、気軽に立ち寄れる雰囲気作りにより、稼働率の向上及び個人利用増加を促します。また、利用者のご要望を検討した結果、施設の構造上の問題や設置趣旨を考慮し、実施困難と判断された場合には、代替サービスをご提案し利用促進につなげます。

(3). 利用料金の設定について

利用料金は現行の料金設定（下記表）を継続し運用します。

自主事業の参加料金におきましては、材料費や講師料等のバランスを考慮して、参加しやすい料金設定を行います。また、幼児や小中学生等を対象とした事業の参加費に関しては、できるだけ参加費を徴収しない方向で設定し、利用機会の拡充を図ります。

利用料金設定

室名	1 コマ 時間数	利用料金		定員
			日曜・祝日の午後②	
小会議室	3 時間	510 円	340 円	18 名
中会議室	3 時間	960 円	640 円	48 名
工芸室	3 時間	480 円	320 円	18 名
音楽室	3 時間	1,650 円	1,100 円	60 名
料理室	2 時間	640 円	640 円	24 名
和室	3 時間	1,140 円	760 円	36 名
和室(分割利用)		570 円	380 円	
体育室(全面)	3 時間	1,830 円		
体育室(2/3面)		1,200 円		
体育室(1/3面)		600 円		

(4). 利用者ニーズの把握と運営への反映方法

利用者ニーズを正確に把握するために、様々な場所・時間そして人から数多くの要望を受け取る体制を構築するとともに、収集した情報を分析・評価・検討することにより、あらゆる角度から実現の可能性を模索し、実施する体制を構築いたします。

ア. 地域・利用者ニーズの把握

地区センターアンケート・ホームページのお問合せ・「生の声」・定期的な座談会・横浜市市民の声・市及び区の施策、統計・利用者会議・地区センター運営会議等、様々な活動を通じてニーズを把握いたします。

イ. ニーズへの対応

地区センターにおいて実施計画を策定し、区と十分な協議を重ね、地区センター運営会議及び利用者会議に諮ります。賛同が得られたものについては、実施計画を基本にニーズへの対応を迅速に実施します。賛同が得られなかったものについては、代替案を策定し、再度、ニーズへの対応を図ります。

実施不可能な案件に関しては、実施できない背景とその意義を地区センター内に掲示することにより理解を求めます。

ウ. 事業展開への具体的反映

事業者が一方的に計画立案するだけでなく、事業によっては事業組み立ての段階から運営委員会を立ち上げ、地域住民等を巻き込みます。事業立案そのものも事業の中に組み込んで計画して参ります。

(5). ニーズ対応費の用途について

ニーズ対応費は、市民の自主的な活動を応援するために、設備・備品等を整備するお金です。緊急での使用以外は、地区センターの趣旨に沿っているかどうか、その持ち込まれたニ

ニーズが賛同を得られるかどうかを調査し、適切に使用します。また、地区センターの利用状態を考慮した優先順位をつけ、計画的な利用を行います。優先順位は「現在使用しているもので、更新が必要な物」「設備の緊急修繕」「新規ニーズ対応への備品購入」の順とし、「新規ニーズ対応への備品購入」に関しては、要望の多さ利用頻度などを的確に捉え執行します。

(6). 個人や団体に対する相談、調整、助言等について

悩みや勉強等の相談が家族のようにできる「暖かい空間」、高齢者や障害者が安心して利用できる「サービス介助」を実施するために、清光社教育プログラムに基づく社内外講習・資格取得・多様な施設間交流講習・効果測定を実施します。

団体においては、自主的な活動及び相談、広報支援を行い、幅広い活動のサポートを行うとともに、地区センターで実施する自主事業を協働で行い、一体となって地区センターを盛り上げます。また、地域住民のニーズに対応した自主事業を開催することにより、新たなコミュニティ創造の可能性を高めます。このため、計画した自主事業をその時点でのニーズに対応するために適宜変更し、より効果的に実施します。

(7). その他利用者サービス向上の取り組みについて

地区センターの機能及び利用者の利便性を向上させるため、「中図書館」「オリブ工房」と定期的な連絡会を実施することにより、地区センターの利用促進及び地域課題の解決を行います。また、地元自治会代表者や地元で活動する団体代表者で構成する「地域連絡会」の開催において、地域課題を踏まえた連携事業や地区センターでできること・やってほしいことを議論し、具体的な実現に向けて取り組むことで地域交流を深めます。

4. 施設の維持管理計画**4. 施設の維持管理計画**

「便利で楽しめる『利用者サービス』」、「何度も足を運び、笑顔がこぼれる『ホスピタリティサービス』」、「快適に施設を利用できる『快適な空間の創造』」を軸に利用促進活動を展開し、人が自然と集まり、会話がはずむような、地域のシンボルとなる地区センターを目指します。また、本牧地区センターの利用統計を参照し、稼働率が低い部屋及び時間帯、時期の分析を行い、利用率向上のための利用者サービスを順次実施してまいります。

(1). 施設の効率的な運営のための計画について

4つのマネジメントシステム【ISO9001 品質マネジメントシステム】【ISO14001 環境マネジメントシステム】【OHSAS18001 労働安全マネジメントシステム】【ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム】の手法とPDC Aを活用したスパイラルアップを図り、継続的な業務改善実施と管理運営業務の効率化・効果の最大化を図ります。

(2). 施設の維持管理について

「快適であり」「安全であり」かつ「安心である」環境を提供するために、常に利用者の視点に立ち、高齢者や障害者等の利用も考慮し、「ノーマライゼーション」を意識した維持管理を行うことを軸に、「快適な空間の創造」を目指します。

中図書館との連絡調整を密にした施設管理を「維持管理業務一覧」に則して実施し、予防保全の観点から日常巡視や定期巡視の実施により施設の長寿命化を図るとともに、危険箇所の特定制、リスク分析、改善を行います。

修繕に関しては、必要箇所の特定による一覧表を作成し、緊急性や安全性、利便性、快適性を考慮して計画的に実施します。

団体名	株式会社 清光社
施設名	横浜市本牧地区センター

平成26年度収支予算書(総括表)

1 収入の部

項 目	合計金額 (単位:千円)	備 考
利用料金収入 [A]	4,350	
自主事業収入 [B]	1,646	
雑入 [C]	960	
小 計 【ア】 ^([A]~[C])	6,956	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	20,027	【ウ】-【ア】
指定管理料②(ニーズ対応費分) [E]	1,450	[A]×1/3
小 計 【イ】 ^([D]+[E])	21,477	指定管理料の計
収入合計 ^(【ア】+【イ])	28,433	

2 支出の部

項 目	合計金額 (単位:千円)	備 考
人件費 [a]	19,090	
事務費 [b]	1,209	
自主事業費 [c]	2,722	
管理費A(光熱水費等) [d]	84	
管理費B(保守管理費等) [e]	803	
公租公課 [f]	1,642	
事務経費 [g]	1,433	
小 計 【ウ】 ^([a]~[g])	26,983	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h](=[E])	1,450	[E]と同額になります。
小 計 【エ】 ^([h])	1,450	ニーズ対応費の計
支出合計 ^(【ウ】+【エ])	28,433	

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

団体名	株式会社 清光社
施設名	横浜市本牧地区センター

平成26年度収支予算書

1 収入の部内訳(指定管理料除く)

(単位:千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
利用料金収入	利用料金		ア 4,350	
			イ	
			ウ	
			エ	
			オ	
			カ	
			キ	
			ク	
			ケ	
		小 計		[A] 4,350
自主事業収入	自主事業	自主事業計画書	コ 1,646	
		一般事業、子育て支援、子ども対象事業	サ	
		高齢者支援事業、地域との連携事業	シ	
			ス	
			セ	
		小 計		[B] 1,646
雑入	印刷代	コピー機使用料	ソ 180	
	自動販売機手数料	飲料用自動販売機	タ 660	
	その他	カラオケ	チ 40	
	その他	電話料他	ツ 80	
			テ	
			ト	
		小 計		[C] 960
小 計 【ア】		施設運営収入計	6,956	[A]~[C]

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

団体名	株式会社 清光社
施設名	横浜市本牧地区センター

平成26年度収支予算書

2 支出の部内訳(ニーズ対応費除く)

(単位:千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
人件費	給与・賃金	職員3名、4Hパート×12名、3Hパート×2名	ア 17,150	
	社会保険料		イ 1,200	
	通勤費・健康診断費		ウ 740	
	小 計		[a] 19,090	ア～ウ
事務費			[b] 1,209	
自主事業費			[c] 2,722	
管理費A	電気料金	自動販売機電気料金 他	エ 84	
	ガス料金	中図書館にて負担	オ 0	
	上下水道料金	中図書館にて負担	カ 0	
	小 計		[d] 84	エ～カ
管理費B	修繕費		キ 740	
	清掃		ク 43	
	消防設備		ケ 0	
	機械警備		コ 0	
	空調設備		サ 0	
	エレベーター		シ 0	
	自動ドア		ス 0	
	電気保守管理点検		セ 0	
	非常用放送設備		ソ 0	
	害虫駆除		タ 0	
	植栽管理		チ 0	
	設備総合巡視点検		ツ 0	
	その他		テ 20	
			ト	
		ナ		
		ニ		
	小 計		[e] 803	キ～ニ
公租公課			[f] 1,642	
事務経費	(労務、経理、契約、職員研修など)		[g] 1,433	

小 計【ウ】	施設管理運営経費計	26,983	[a]～[g]
--------	-----------	--------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

(各内訳には課税取引分の消費税及び地方消費税額を含んだ金額を記載、公租公課欄には仕入税額控除後の見込額を計上)

26年度自主事業計画書

本牧地区センター

25年度は下記のコンセプトに基づき事業を計画立案致しました。

- | | |
|------------|---|
| ① 一般事業 | どなたでも参加出来、地域の方から要望が多く趣味や健康、料理に関する企画 |
| ② 子育て支援 | 子育て中の親子が孤立することなく地域の中でつながりを持ち、健やかな育児ができるよう支援 |
| ③ 子ども対象事業 | 主に小学生～中学生対象。親子で参加できる企画も含まれます。 |
| ④ 高齢者支援事業 | 年齢層の高い方々が、孤立することなく地域の中でつながりを持ち、かつ自立維持支援を図ります。 |
| ⑤ 地域との連携事業 | 地域の拠点としての役割の推進、また地域活性化を図るため様々な地域連携をはかります。 |

① 一般事業 及び ④ 高齢者支援を含む事業（タイトル網掛）

No.	事業名	目的・内容	実施時期・回数
1	シルバーエイジ革命 輝けるシルバーエイジハ	シルバー世代といわれる高齢者及び高齢予備軍対象事業。年齢だからとあきらめるのではなく、経験を重ねた者だからこそできる自分に自信をもってもらい、また新たな事にもチャレンジしていただく。 講師自身が輝いている方による様々な教室を展開します。	6月～3月 3回程度
2	本牧メンズスタイル	若年からリタイア組まで含め、男性が体験してみたい様々な仕事以外の体験を参加者自ら企画して進めます。 昨年発足した運営委員会を中心に、企画立案して事業展開をはかります。 現在運営中「本牧サロン 横浜アーカイブズ」は、本牧・横浜を愛してやまない人々を講師に招き、裏話的な歴史講座が好評です。	4月から 8回
3	本牧サロン・ 横浜アーカイブズ	本牧メンズスタイルの企画立案による事業展開。 本牧や横浜の歴史をテーマに講演会等を開催します。	4月から 6回
4	異文化交流ステーション ①料理編	運営委員会をつのり、韓国語や、中国語の初心者体験講座を開催したり、花見や日本文化の体験イベントを企画したりして、文化や考え方の違う他者から学んだり、他者へ自分の考えを発信する場を創出します。国際都市横浜として、区民の方の国際交流の支援を行います。 今年度はまず様々な国の方々を講師に招き料理教室を開催。食文化の違いを学びながら交流を図ります。	5月～2回
5	ポディーコンディショニング ストレッチ&スロー筋ト レ	健康が気になるというニーズに対応して、大勢で定期的に運動をする機会を作り、基礎体力の向上や参加者同士の交流を深め、団体行動に伴う運動習慣の定着を目的に行います。内容： マットを使用し、ゆっくりと身体のバランスを整える健康体操を実施します。ストレッチとスロー筋トレを隔週交互に行います。	4月から 月4回
6	ヴォイストレーニング	喉や体に負担がかからないように、姿勢を良くして体全体のバランスを保ち、楽しく歌うための発声方法を学びます。軽くストレッチの後、腹式呼吸などの基本練習、歌える身体(喉)作りを中心に行います。 声を出すことの喜びを感じてもらう講座。	4月～2月 毎月2回
7	伝統継承プログラム カルチャー編 その①茶道教室	生活の中に根づいていながらその成立を知らず、ただ形だけになっている日本の文化、伝統がたくさんあります。そのような伝統文化を、あらためて基本からまなんでゆきます。今回は昨年の入門編に引き続き初歩の茶道教室を開催。	10月から 5回程度
8	伝統継承プログラム カルチャー編 その②風呂敷を使おう	風呂敷はまさに日本の生活文化の象徴的な道具です。そんな風呂敷の現代ならではの使い方を学びます。	1回
9	伝統継承プログラム マナー編 その①冠婚葬祭のマナー	いざというときにどうしたらいいのかわからない。恥ずかしい思いをしたくない。という方の不安を解消します。人生の節目、転機を迎えた際に役に立つ、難しくない、コツとポイントをつかんだ、実践的なマナー講座を行います。	9月に1回
10	ライフスタイルアップ ステーション ①ワイン講座	テーブルコーディネイト講座、フラワーアレンジメント講座、ファイナンシャルプランニング講座、エコライフプログラム他、家庭生活をうるおす講座の開催 今年度は昨年好評であったあったワイン講座を継続開催	12月 1回
No.	事業名	目的・内容	実施時期・回数

11	ライフスタイルアップ ステーション ②日本酒講座	テーブルコーディネート講座、フラワーアレンジメント講座、ファイナンシャルプランニング講座、エコライフプログラム他、家庭生活を うるおす講座の開催 今年度は第2弾、要望の高かった日本酒講座を 開催	1月 1回
12	クッキングプログラム① みゆき先生の幸せレシピ	イタリアン・フレンチ料理の専門家を招き、初心者でも気軽に美味しく 作れるメニューが特徴。 昨年実施して人気の講座の継続開催。その他 参加者同士の仲間作りも奨励します。	4月～3月 10回程度
13	クッキングプログラム② ヘルシークッキング	薬膳料理等、健康づくりをテーマにしたクッキング	5月～3月 5回程度
14	クッキングプログラム③ メンズ優先！ 酒の肴アラカルト	男性を対象に、上記にポイントを絞ったメニューで楽しみながら料理 を学んでいただきます。 参加者同士の仲間作りも奨励します。	5月～3月 3回程度
15	クッキングプログラム④ 先輩ママによる料理教室	昨年度募集した先輩ママによる料理教室を企画 「日本のお惣菜」肉じゃが、きんぴらごぼう、ひじきの煮物など、 ごく普通のメニューでも、なかなか食卓にあがらなくなった惣菜料理 の教室を優先するが、 彼女たちのご自慢の料理の為、お菓子や洋食が登場する可能性もあ る。	年3回程度
16	本牧シネマクラブ	メディア興業館で上映されないような映画を、小さな子ども連れの親でも見 ることが出来るような方法で上映したり、テーマ性の高い映画を小規模に上 映したり、公共施設ならではの映画会を開催します。	年2回程度

②子育て支援

No.	事業名	目的・内容	実施時期・回数
17	子育て支援者による相談	出産前後の不安、子育てに関する様々な悩み等、将来の不安を取り除き、少子化対策の一助に努めます。	4月から 12回
18	親子でリトミック	講師の語りかけ・ピアノの演奏で、親子が体を動かし、楽しい時間を共有します。年齢別のクラス編成になっており、発達段階によって、レッスンの内容に変化を付けます。親子が笑顔の時間を過ごすことで、より絆を強くし、母親の育児不安を解消します。	4月～3月 12回
19	まいまいの人形劇	人形劇を観賞し、感受性を豊かにするとともに、ボランティアサークルの活動を支援します。「人形劇サークルまいまい」による人形劇で、わらべ歌を歌ったり、人形ダンスを演じます。また、人形にさわるコーナーを設けて、子どもたちとふれあいます。	7月、12月 2回
20	こぐまのへや	幼児期の子供に表現力や想像力を養うため、「お話し、手遊び、パネルシアター」を使って、子育て支援グループの協力でを行います。また、親と子のふれあい、同世代の母親達の仲間作りを支援します。	4月から 12回
21	ママ力の会	ママ達（もしくはパパ達含む）が自分たちで企画・活動できるよう職員がサポートしながら運営。 内容によっては、保護者が参加しやすいように、預かり保育を付けます。	4月から 12回程度
22	ママ楽	子育て中の親に必須科目の講座を企画します。 25年度は「ママ力の会」の企画ですすめる予定。 対象：赤ちゃんとお母さん、妊婦 内容によっては、保護者が参加しやすいように、預かり保育を付けます。	年2～3回程度
23	はじめてのクラシック	赤ちゃんから大人まで一緒に楽しめるコンサートを開催。	3月～ 3回
24	一時託児	子どもがいて自主事業に参加できないという保護者の方を対象に、安心して自主事業に参加していただけるよう、一時託児を実施し、母子の社会参加の機会の創出を図ります。子育て支援ネットワークの保育士の方の派遣を想定しています。	不定期

③ 子ども対象事業

No.	事業名	目的・内容	実施時期・回数
25	本牧キッズタイム 演劇講座	五代孝之氏による演劇ワークショップ	不定期 5回
26	本牧キッズタイム 造形教室	夏休み、冬休み、春休み各休みに開催	年3回
27	本牧キッズタイム 料理教室	夏休み、冬休み、春休み各休みに開催	3回
28	本牧キッズタイム 夏休み ミュージカルレッスン	夏休みを利用して、子ども達とミュージカルを作ります	5回
29	本牧キッズタイム ダンス教室	自由な身体表現が出来るようヒップホップダンスを中心に練習します	5回
30	ほっとこむ 子どもの居場所	様々な子どもの課題に取り組んでいる「ほっとこむ」メンバーと共催。子どもの居場所づくりに協力します。	4回

④ 地域と施設を結び事業

No.	事業名	目的・内容	実施時期・回数
31	本牧さくら祭り	本牧の自慢の桜並木を、多くの方に知っていただくために、桜を主役にしたイベントを多数企画。桜散策他。 また、地域でさくら祭り実行委員会を立ち上げ、連携イベントも企画。 三溪園・本牧山頂公園・さくら祭り実行委員会 共同企画	4月
32	中区絵本フェスティバル 2014	「絵本」をキーワードにして、山手西洋館、その他中区の施設が連携し、子育て支援事業を同時期に開催します。絵本展示、講演会、読み聞かせ、コンサート等。 開催3年目となる今年度は、絵本による人の絆がテーマとなった映画「じんじん」上映会を皮切りに事業を展開します。 主催：中区絵本フェスティバル実行委員会 事務局：本牧地区センター	7月～8月
33	本牧かぼちゃ祭り	10月31日のハロウィンに、地区センターと地域の他施設がタイアップしたお祭りを企画します。衣装した子ども達が町を練り歩きます。 地区センターでは、フェイスペイントを実施	10月に1回
34	山頂公園探検 焼き芋を探せ	都会の中では、自然に触れ合う機会になかなか恵まれません。本牧という地域には、自然あふれる本牧山頂公園があります。山頂公園・自然環境を守る活動をしている会と、共催することにより、落ち葉拾い、たき火焚き、焼き芋を実現したいと企画しました。 共催：本牧山頂公園指定管理者 本牧山頂公園和田山地区地域連絡会	11月 1回
35	おもちゃの病院	物の仕組みを知ることにより、物づくりのすばらしさや難しさを理解し、物を大事にする心を育みます。ボランティアがおもちゃの壊れた箇所や理由を質問し、幼児から小学生が使うおもちゃを無料で修理します。その場で修理できないものはお預かりして、後日、修理した物を返却します。修理は「中区おもちゃのドクターネットワーク」にご協力頂きます	5月・9月・11月 3回
36	本牧地区センターのクリスマス (コンサート他)	地元の団体演奏団体等と協働しクリスマスコンサートを開催したり、館内にクリスマス装飾を施して雰囲気を作り、地域の方々の交流を図ります。	12月
37	本牧地区センター スプリングフェスティバル 2014 (地区センター祭りに該当)	日頃、地区センターをご利用いただいているサークル・グループ等の方々に、発表の場として、施設を無料開放し、ご利用いただけます。来館いただいた方々が、実際に参加する体験コーナーも設置。体育室ステージでは、コンサートや、デモンストレーションをしていただきます。	3月 1回
38	本牧フリーマーケット	地域住民の自主的な活動の場として、フリーマーケットを開催し、販売のやり取りや会話を通して、地域交流を深めます。内容：体育室に約25の販売ブースを設置し、販売希望者を公募します。子どもだけのフリーマーケットスペースも確保。	3月 1回
39	25周年事業	平成26年5月21日に創立25周年を迎えます。 米軍から返還された土地の新しい本牧街づくりとともに建造され歩んできました。この四半世紀を振り返り、地元と共に、記念事業を展開します。	時期未定 1回
40	被災地支援事業	一昨年から始めたこの企画が、早く無効になればよいのですが、いまだ被災地の状況は援助を必要とされています。 誰でもが参加しやすい支援の形、「使い捨てカイロ」を今年度も贈る事業を展開します。	11月～1月

平成26年度 自主事業計画書

	事業名	①募集対象	④実施時期	自主事業予算額					
		②募集人員		総経費	収入		支出		
		③一人当たりの参加費			⑤回数	委託料	参加費	講師謝金	材料費
1	シルバーエイジ革命 輝けるシルバーエイジへ	一般 10 500	6月～3月 3	30,000	15,000	15,000	15,000	15,000	0
2	本牧メンズスタイル	一般 10 0	4月～3月 8	0	0	0	0	0	0
3	本牧サロン・ 横濱アーカイヴス	一般 20 200	4月～ 6	24,000	0	24,000	0	0	24,000
4	異文化交流ステーション ①料理編	一般 15 800	5月～ 2	30,000	6,000	24,000	16,000	14,000	0
5	ポディーコンディショニング ストレッチ&スロー筋トレ	一般 12 500	4月～3月 48	480,000	192,000	288,000	480,000	0	0
6	ヴォイストレーニング	一般 20 500	4月～3月 20	200,000	0	200,000	200,000	0	0
7	伝統継承プログラム カルチャー編 その1 茶道教室	一般 10 1,000	9月～ 5	65,000	15,000	50,000	50,000	15,000	0
8	伝統継承プログラム カルチャー編 その2 風呂敷を使おう	一般 10 2,000	11月 1	20,000	0	20,000		20,000	0
9	伝統継承プログラム マナー編 その1 冠婚葬祭のマナー	一般 20 500	9月 1回	10,000	0	10,000	10,000		0
10	ライフスタイルアップ ステーション その①ワイン講座	一般 20 1,000	12月 1	20,000	0	20,000	0	20,000	0
11	ライフスタイルアップ ステーション その②日本酒講座	一般 20 1,000	1月 1	20,000	0	20,000	0	20,000	0
12	クッキングプログラム① みゆき先生の幸せレシピ	一般 18 1,000	4月～3月 10	180,000	0	180,000	80,000	100,000	0
13	クッキングプログラム② ヘルシークッキング(業務等)	一般 18 1,000	5月～ 5	90,000	0	90,000	40,000	50,000	0
14	クッキングプログラム③ メンズ優先! 酒の肴アラカルト	一般 18 1,000	9月～ 3	90,000	36,000	54,000	30,000	60,000	0
15	クッキングプログラム④ 先輩ママの料理教室	一般 18 800	9月～ 3	43,200	0	43,200	15,000	28,200	0
16	本牧シネマクラブ	一般 50 500	未定 2	100,000	50,000	50,000			100,000
17	子育て支援者による相談	0才～ 20 0	4月～ 12	0	0	0	0		0
18	親子でリトミック	0才～ 20 500	4月～ 12	144,000	24,000	120,000	120,000	0	24,000
19	まいまいの人形劇	0才～ 20 500	7月/12月 2	20,000	0	20,000	20,000	0	0
20	こぐまのへや	0才～ 20 0	4月～ 12	24,000	24,000	0	24,000	0	0
21	ママカの会	1才～ 10 0	4月～ 12	30,000	30,000	0	0	0	30,000
22	ママ楽	一般 20 500	5月～ 3	30,000	0	30,000	30,000		
23	はじめてのクラシック	0才～ 20 500	5月～ 3	30,000	0	30,000	30,000		0
24	一時託児	0才～ 10 500	4月～ 10	100,000	50,000	50,000	100,000		0
25	本牧キッズタイム 演劇教室	小学4年～ 15 1,000	未定 5	100,000	25,000	75,000	100,000		0
26	本牧キッズタイム 造形教室	小学4年～ 20 500	各休暇 3	60,000	30,000	30,000	30,000	30,000	0
27	本牧キッズタイム 料理教室	小学4年～ 15 500	各休暇 3	46,500	24,000	22,500	24,000	22,500	0
28	本牧キッズタイム 夏休み ミュージカルレッスン	小学生～ 10 1,000	夏休み 5	100,000	50,000	50,000	100,000	0	0
29	本牧キッズタイム ダンス教室	小学4年～ 10	9月～	50,000	0	50,000	50,000	0	0

事業名	①募集対象 ②募集人員 ③一人当たりの参加費	④実施時期 ⑤回数	自主事業予算額						
			総経費	収入		支出			
				委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他	
	1,000	5							
30 ほっとこむ 子どもの居場所	小学生～	4月	0	0	0	0	0	0	0
	20								
	0								
31 本牧桜まつり	一般	4月	20,000	20,000	0	0	0	0	20,000
	200								
	0								
32 中区絵本フェスティバル2014	一般	7月8月	20,000	20,000	0	0	0	0	20,000
	200								
	0								
33 本牧かぼちゃまつり	一般	10月	10,000	10,000	0	0	0	0	10,000
	200								
	0								
34 山頂公園探検 焼き芋を探せ	20		10,000	10,000	0	5,000	5,000	0	0
	200								
	一般								
35 おもちゃの病院	20	5月～	10,000	10,000	0	10,000	0	0	0
	0								
	3								
36 本牧地区センターのクリスマス (コンサート他)	一般	12月	60,000	0	60,000	50,000			10,000
	30								
	2,000								
37 スプリングフェスティバル 2014 (地区センター祭りに該当)	一般	3月	30,000	30,000	0				30,000
	200								
	0								
38 本牧フリーマーケット	一般	3月	20,000	0	20,000	0	20,000	0	0
	20								
	1,000								
39 25周年事業	一般	未定	400,000	400,000	0	300,000			100,000
	300								
	0								
40 被災地支援事業	一般	未定	5,000	5,000	0	0	0	0	5,000
	1000								
	0								
合 計			2,721,700	1,076,000	1,645,700	1,929,000	419,700		373,000